## 上辺×底辺×高さ×

平葭 健悦

劇団主宰者がこちらと同じ「高さ」

まで折り畳んで撤去し、

暗転明け

しい

動作でしかない。

いっそ会議机

つまり合理性を追求した結果

それも次のシーンの為の

れることしばし、

開演時間となり

げで、

席にはまだ余裕があった。

そのシーンで使った椅子を片付け

矛盾するのではないか。

暗転前に

のを必要な数だけ用意するという

合理的なやり方は劇団の方向性と

を用いないのであれば、

必要なも

十年ぶりのスペースベンの空気

。その空間の妙に酔いし





団ごめ企画の三浦哲郎短編朗読

十日市秀悦一人芝居、

演劇集

そして劇団インテルビスタのスペ

起こらないのです。

これと言って特別なことは

スベン公演。どれもこれも素晴

八戸は

演劇の息づく街であって欲しい らしい演劇体験が出来た。

ŋ 0

間違いなくつまらない 演劇を享受できない街は、 演劇のある街は魅力のある街だ。 スペースベンという小さな劇 まあ、

V

演『リ・クリエイション』が上演さ めた空間。 小宇宙で劇団インテルビスタ公 多くの舞台作品を演劇たらし 不思議な魅力を持つこ

を歩いて客席に行くしかない。 かもしれないと思いながら、 に着くことが出来ないから、観客 ない。そこを通らないと自分の席 それゆえ、 テージは客席と同じ地平にあり、 高いものだが、ここでは違う。 通じる階段を数段下りる。 こには舞台面と同じ高さに置かれ 開演まで少し時間があったおか 車道に面した入口から半地下に もしかしたらここは舞台なの 一般的にステージは その区切りさえ明確で と、そ そこ

展開がありません。 舞台は、 ーインテルビスタ 劇的な

三八上北地区大会、演激対話、

九月から立て続けに、

舞台に出て挨拶を述べた。

島和子追悼公演、

劇団やませ本公





ほど。 らしい。 使わないで劇性を表現する。まあ ていたが、 をしているのだな。そう思って見 言ってみれば今流行りの仕立て方 そうした、いわゆる芝居染みたも を排除し、演劇的手法をあえて 劇団インテルビスタの演劇創作 「底辺」となっているのが、 そういうことのようだ。なる だから大げさだったりする 演劇とは日常のものではな どうやらそうでもな つま

シーンがあるが、役 離感を保って立ち、 者はごく芝居風な距 劇中、 体操をする



の上に、そして椅子が必要な分が 会議机が二つあって、 極めて演劇チックだ。 これはどうだろう。 その下に置いてある。 演劇的手法 電話機がそ 舞台上には

客席に向かう角度も

の間は空洞でなく、 しっかりとした底辺があれば、 辺だけでは空っぽで、 ない無意味なものでしかない。 べ」だけの付き合いは中身を伴わ 愛想を尽かす場面がある。「う をしていた主人公に、 本作品中、「うわべ」の付き合 本質で埋め尽 仲間たち 上辺の下に

す為にも、 高みを目指して大きく飛躍して欲 ケチなことを言わず、 ない。そして、×二分の は備わっている。 テルビスタには劇団としての底辺 台形の面積は求められるが、 上辺×底辺×高さ×二分の 上辺にとらわれ過ぎてはいけ 本質を見失わない為に その底辺を生か 自分たちの なんて イン

臭いことはダサいから、 音」と「建前」はある。 団の「底辺」と通じるはずだ。 させない様に工夫したいが、 方が、よほど芝居染みてなく にそれをすぐ組み立てる。 舞台を創る際にも、もちろん 観客を飽 現代風に 芝居



なければ、

それは 劇性が

るだけで、

なことは起こらない」ように見え

演劇ではなく、

空洞なのだ。 身の無い、

のだ、ということである。「劇的 我々が創っているのは演劇な

だここで見失ってはいけない

アレンジしてスマートにやり

誰しもが思うことだろう。

Friday Amusement Negative Shop

○FANS予定(930~934回) タイトル:アース・イーターvol.4/脚本:加藤健太郎 出演:田中勉 ※公演日はホームページでご確認ください。または join-fans-info.tujb@ml.freeml.com に空メールを送ると、公演情報案内のメーリングリストに登録できます。

演劇空間

■八戸市柏崎1-11-8 TEL. 0178-43-9876 050-3588-8350 080-6025-0990 ※特別番組以外 金曜日は午後7時30分~、 十曜日は午後2時~ 料金/一般前売400円 高校生以下100円(当日100円増) ※チケットはスペースベンにて販売。スペースベンの上演内容は、 ホームページまたはメールマガ ジンでご確認下さい。 HP http://spaceben.com/ Eメール owner@spaceben.com

## 12月号好評発売中!

## ●今月のテーマエッセイ

贈り物 石の贈り物・・・・・・・ 河村美知子 ボロボロのシューズ・・・・・・平 島正義 子之 · · · · · 中村佳代 付随するもの・・・・・・しもさき博 新築祝に骨董品を・・・・・・松 坂 恵 久 寒立ち馬に贈る・・・・・・・・黄 綿 昶



## ●今月のインタヒ

写真家

中村佳代子さん(27歳)に聞く



毎月ご愛読ありがとうございます

発行所/うみねこ出版社 八戸市六日町10 いわとくパルコ3F TEL·FAX 0178-44-6636